



ティーボールを体験する参加者

TOPIC 10  
2  
12  
ティーボールで  
野球の楽しさを知る

ティーボール体験会

野球人口の増加と選手の育成を目的とした北海道軟式野球連盟釧路支部（小畑保則支部長）主催のティーボール体験会が町総合体育館で開催されました。

同体験会は今年で3回目。年少から小学校3年生までの子どもたち約60人が町内外から参加し、ティースタンドに置いた柔らかいボールを打つ、ティーボールを体験しました。釧路市の野球少年団チームに所属する尾西皇哉君（3年生）は「試合形式でヒットを打って楽しかった」と笑顔で話していました。

TOPIC 7  
2  
1  
怖い鬼さん出ていけ～  
泣きながらも鬼退治

庶路こども園「豆まき会」

3日の節分を前に、庶路こども園は「豆まき会」を行いました。

園児たちは、自分で手作りした鬼のお面をつけながら、新聞紙を丸めて作った「豆」を投げ、鬼を追い払いました。最初は逃げ出したり、泣き出したりする園児もいましたが、すぐに打ち解け、赤鬼や青鬼への質問コーナーでは笑顔を見せていました。

五十嵐優来ちゃんは「はじめは怖かったけれど、優しい鬼さんでよかった」と笑顔で話していました。



鬼から逃げる園児たち

TOPIC 11  
2  
14  
白糖柔道スポーツ少年団と  
ジョイフィット白糖

全道大会出場報告会

北海道少年柔道優勝大会（3月12日、千歳市）に出場する白糖柔道スポーツ少年団と、水泳の全国JOCジュニアオリンピックカップ春季大会（2月26日、札幌市）に出場するジョイフィット白糖の選手が役場を訪れ、川島眞澄教育長に出場を報告しました。

※出場選手は次のとおり（敬称略、丸数字は学年）

- 【水泳】井出颯生⑨ 山内光葵⑧ 井出流颯⑦ 中塚龍信⑦ 山内莉玖⑥ 宍戸流星⑧ 宍戸蒼星⑦
- 【柔道】井嶋行誠⑧ 佐々木四季⑧ 筒淵弘⑦



健闘を誓った柔道選手(制服3人)と水泳選手(赤いジャージ)



最後に記念撮影をする在校生

TOPIC 8  
2  
4  
42年の歴史に幕  
学びやとの別れ惜しむ

白糖養護学校閉校記念式典

本年3月末に閉校する北海道白糖養護学校（仲條正輝校長）の閉校記念式典が同校で開かれました。同校は、1980（昭和55）年に11人の児童生徒で開校。これまでの42年間で335人が卒業しました。

式では、仲條校長が「閉校になるのは大変残念。本校の教育に理解と支援をいただきお礼申し上げます」と式辞。その後、生徒一人一人による「思い出発表」や校旗返納などが行われました。最後は全員で校歌を斉唱し、思い出の学びやに感謝と別れを告げました。



「上海は洋風な建物が多くて夜景がきれい」と話す牟さん（右奥）

TOPIC 12  
2  
14  
中国の食文化や歴史を紹介

中国語講座

中国の食文化や歴史、観光地に触れながら中国語を学ぶ「中国語講座(全4回)」が公民館で開かれました。講師は町内各校で中国語の外国語指導助手(ALT)を務めている牟海飛（モウ・ハイフェイ）さん。

初日となるこの日は、中国語を交えながら北京、上海、西安、成都の4都市について、それぞれの観光スポットや有名な食べ物などを紹介しました。参加した林美緒さんは「紹介された中国の街がきらきらしていて、行ってみたいくなりました」と話していました。

TOPIC 9  
2  
4  
刺繍を通して  
アイヌ文化に触れる

「アイヌ文様刺繍教室」

白糖町出身でアイヌ文様刺繍優秀工芸師の間宮喜代子さんによる「アイヌ文様刺繍教室」がウレシパチセで開かれました。

間宮さんの刺繍はクモの糸を表している細かい「エタラカ」という最高難度の技法を用いた文様が特徴。

教室では、間宮さんが「縫い目の間隔を一定にそろえることがポイント」と説明。参加者は、丸みが多いアイヌ文様に苦戦しながらも丁寧に刺繍を行っていました。



一人一人に縫い方を教える間宮さん（左）